

自然エネルギー信州ネット

2018年度第1回運営会議 議題

日時：2018年（平成30年）6月4日（月）14：00～16：00

場所：長野県環境保全協会 会議室

1. 開会（司会 浅輪事務局長）
2. あいさつ（高木会長、顧問）
3. 会議事項

（1）議題、資料確認、役員数確認、議長選任

（2）総会資料確認

- 1) 2017年度 事業報告
 - 2) 2017年度 収支決算報告
 - 3) 理事の交代補充について
 - 4) 2018年度 事業計画（案）
 - 5) 2018年度 収支予算計画（案）
- 4)と5)は同時に確認

（3）その他 議題（事業計画に関連して）

市民共同発電全国フォーラムへの実行委員会参加について

パタゴニアとの連携協力について

ソーラーシェアリング拡大方策について

連絡事項

■2018年度 定時総会開催のお知らせ

日時：2018年6月30日（土） 14：30～16：00

会場：生涯学習センター トイゴ3階 第1、第2学習室

長野市鶴賀問御所町1271-3

※同日、13：15～14：15 顧問の飯田哲也（環境エネルギー政策研究所所長）によるセミナー「ご当地からのソーラーシェアリング」を開催します。

4. 閉会

自然エネルギー信州ネット

2018年度第1回運営会議 議事録

日時：2018年（平成30年）6月4日（月）14：00～16：30

場所：長野県環境保全協会 会議室

出席者（敬称略）：

【役員】

高木 直樹 理事・会長

平島 安人 理事・議長

合原 亮一 理事

小田切 奈々子 理事

（欠席）

田村 恵子 理事

茅野 恒秀 理事

（4／6出席で過半数 成立）

真関 隆 顧問

飯田 哲也 顧問

浅輪 剛博 事務局長

山田 かおり 事務局員

長野県 神田 大介

長野県 高田 淳子

【会員】（5名）

【議題説明】（ISEP職員）

山本 精一（ISEP）

1. 開会 （司会 浅輪事務局長）

2. あいさつ

高木会長： 久しぶりにたくさんの方にお集まりいただきました。

皆さま、信州に自然エネルギーを増やしたい想いは一緒だと思います。

信州ネットの今後の運営、方向性について忌憚ないご意見をいただきたい。

どういう事業を行なっていくかと、どうやって運営していくかという議論をできればと思っています。

真関顧問： 信州ネットは産官学協働の自然エネルギー普及活動にご尽力いただき深く感謝しています。

昨年9月地域再生エネルギー国際会議をはじめ長野で開催し、

飯田自然エネルギー大学関連では、信州ネットが2年間受託してセミナーを実施していただき、産業化研究会においては、信州ソーラーパトロールのプロジェクト化のご提案をいただくなど、厚く御礼申し上げます。

本年度は、県では、建築物の屋根のポテンシャル見える化、ソーラーマッピング2年間のプロジェクトなどに向けた協議会を立ち上げ進める予定です。

ぜひ引き続き、ご協力をお願いしたいです。

今日、信濃毎日新聞の記事で鬼無里の取組みが、タイミングよく掲載されました。

引き続き、このような事例を増やすためにも、これからも再エネ100%地域目指してご一緒に取り組んでいただけたらと存じます。

新しい職員の紹介をいたします。高田淳子です。昨年度、林務部から環境エネルギー課へ配属となり、今年度から信州ネットの担当をさせていただきます。また、神田は引き続き担当させていただきます。

3. 会議事項

(1) 議題、資料確認

浅輪事務局長： 配布資料、会議資料一式及び県の資料がありますので、ご確認ください。

理事総数6名のうち、4名の参加。

理事過半数の参加で規約により当運営委員会は成立しております。

議長を理事の平島さんをお願いいたします。

(2) 議事

議長 平島理事： 午前中仕事があり、駆けつけたので少し遅れてしまい失礼しました。

現在は、環境関係の部門にいますが、活動が急に活発になってしまった。

本業とは、別枠的な位置づけかと思っておりますが、今では、本業と一体となっている。

いままでにない状況を感じている。

本日の運営会議は総会に向けた準備の会として資料をご確認いただきながら活発な議論をお願いしたい。

1) 2017年度 事業報告

資料 1

平島：総会に向けた作成中のものですが、ご確認ください。「II 活動計画」の6項目ですが、

1. 専門部会は、それぞれの部会からの報告を受けながら作成しています。
2. プロジェクトチームの中では、太陽光のメンテナンスをエネ庁からの委託事業を行い、活動が大きかったが、事務局の負担も大きく、他の活動が当初の計画通りには実行できなかった部分もある。例えば、クールチョイスの事業は実行が叶いませんでした。
3. 組織形態適正化に関しては、会員団体と一体経営となり、無事に登記も終了しております。
4. 各地域協議会は現在、報告を各地よりいただいています。
5. SUWACO Labo は、信州自然エネルギーマルシェとして開催した。参加者の満足度は高かったが、一般の来場者が少なかったため、今年度は工夫が必要です。
6. 会費を払う会員数が減少している。基盤強化がさらに必要です。

■ 質疑

小田切理事：他の事業も進行しているので、「他の事業は不調」という話は適当でないと思います。

例えば、人材育成事業は予定通り行い、長野高校 SGH 支援は3年目となりました。鬼無里でのプロジェクトもおかげで念願の薪ボイラーが入りました。COOL CHOICE は目標の3都市を信州ネットから働きかけるという目標は達成できませんでしたが、宣言した長野市の登録団体にはなりました。

平島：上部に総括として書いてある表現は、「各事業の詳細は下記を参照ください」というような内容への変更を検討します。そのほか、戴いた情報などを加えて総会に向けて作成していきます。

活動報告に関して、若干の修正を加えるということで、決議します。

(一回、拍手にて賛同)

2) 2017年度 収支決算報告

資料 2 2-1 2-2

浅輪：事務局より説明します。税理士会計士に確認をいただき、こちらで決算として税務申告も終了しております。

収入として、会費会員を増やすとしましたが、逆に減ってしまいました。個人会員より寄付がありました。書籍販売をしたので雑収入などあります。

費用としては、人件費が先ほど活動報告にあった委託事業でまかなったので、大幅に減りました。そのほかは、ほぼ予算通りです。(資料参照)

この後、監事が監査します。

■質疑

特になし。

平島：決議します。

(一同、拍手にて賛同)

3) 理事の交代補充について

■確認事項

浅輪：2年間任期の1年目ですが、任期途中での交代があります。

加藤理事が健康上の理由で退任しました。

交代補充として佐久地域協議会の鈴与マタイ(株)小野さんを会長より推薦いただいています。

小田切理事は、諸般の事情により退任します。鬼無里のプロジェクトには引き続き関わっています。

小野：ご推薦ありがとうございます。加藤理事の体調不良で急な交代ですが、

加藤と一緒に信州ネットの活動にも参加もしてきたので、引き続き加藤の担った役割を果たしていければと思います。

佐久地域協議会の活動を活かしながら、信州ネットの活動に協力していきたいです。

佐久地域協議会の事務局と信州ネットとの連携を果たしていければと思います。

平島：理事は3名以上いればとのことで欠員ではないのですが、小田切理事の交代理事もあればと思います。以上の人事については、規約より総会の議決を経て正式決定となります。

浅輪：監事は2名定員ですので、1名欠員です。引き続き、候補に声がけします。

(小野氏を新理事として推薦することを決議。)

また、後日、金子和寛氏を監事に推薦することを役員運営会議にて決議。)

4) 2018年度 活動計画(案)

資料3

平島：資料に基づいて説明します。断熱や省エネの取り組みをより強化したい。

2019年問題などのトピックを取り上げたり、一般や企業の会員がメリットを感じるような

取り組みをしていきたい。(詳細、資料参照)

また、議題にある通り、活動計画の中ではまだ触れられていないものもあるが、最近発生した大きいプロジェクトとして、(1) 市民共同発電全国フォーラム in 飯田への実行委員会参加について、(2) パタゴニアとの連携協力について、(3) ソーラーシェアリング拡大方策について、もあるので、それも合わせ議論、質疑をお願いします。

■質疑

合原：ソーラーシェアリング支援事業について説明させてください。

5/9に、信州ネットと飯田哲也顧問と情報交換を行いました。

ソーラーシェアリングは農水省でも営農継続や耕作放棄地の回復などの効果があるとして、今回制度改革もあり、進められている。しかし、長野県の認可は現在21カ所のみである。信州ネットでも、啓発し、広げていくサポートをしていきたい。

普及しない大きな原因として、一つは、農家が資金調達が難しいということがあります。

特にソーラーシェアリングを熱心に支援している城南信用金庫より、20年のリースの提案があります。これは、初期費用無料で毎年、営農協力費が払われるもので、非常にハードルを下げると思います。ただし、東京の金融機関に成果が行くことになり、地域主導型の自然エネルギーを進めるといふ信州ネット、長野県としてどのように進めたらよいかと思っています。

今日は、ISEP 飯田さん、山本さんにもお越しいただいているので、意見交換をお願いします。

飯田顧問：ご当地エネルギー協会でもソーラーシェアリングを進めるにあたって、

城南信金さんと地域発電所をいくつか開始しています。地域の金融機関と連携して行っている例は多いです。

今回のソーラーシェアリングリースの提案は、低圧をリースです。城南エナジーSPCが設備をリースするというスキームまでできました。地域に土足で踏み込むようなことは無いです。協調融資型で行いたいと思いますが、合原さんと後日、城南エナジー(阿部社長)と協議に行きます。

固定価格21円ならできます。18円でもできる目処はつきつつあります。参入するのであれば今年権利をしっかりとる方が良く、説明の時間など含めて、早く動ければと思います。

平島：案件としてとりあげる方向で検討したいです。

小田切：その他の事案で、市民共同発電全国フォーラムは10月の5-7日に飯田市で

行われますが、高木会長が、実行委員長となりました。信州ネットが団体としてやはり実行委員として参加してほしいと飯田のおひさま進歩エネルギーより提案いただいていますので、就任するのはいかがでしょうか。

(自然エネルギー信州ネットの実行委員就任、全員賛同)

浅輪：それでは自然エネルギー信州ネットが実行委員としてご登録いただけるよう、事務局に伝えます。

小田切：パタゴニアとの連携協力に関しては、店舗がある白馬での地域主導型のエネルギーシフトを模索したいという話があります。

総会と重なってしまいますが、長野県を題材として、パタゴニア主催で「ツール会議」の開催を行います。

浅輪：まず、パタゴニアの白馬店を中心として、地域がエネルギーシフトを起こしていくようなテーマで何かできないだろうかと信州ネットにお声がけいただきました。
また、お配りした資料にありますが、

2018 草の根活動家のためのツール会議-気候変動

日程：2018年6月29日（金）～7月1日（日）

場所：山梨県北杜市 キープ協会清泉寮新館

が、開催されます。残念なことに、信州ネット総会と日程が重なっていますので、1日だけでも、参加できないかと思っています。

平島：理事の中でも可能な限り、前日などに参加したいが、2日目が重要そうです。

田村理事が可能なら、3日間参加してはいかがでしょうか？その上で、報告をしていただき、パタゴニアとの今後の関係構築をアイデアいただけたらと思います。他の方も、1日だけでもできれば参加しましょう。

（全員賛同）

小田切：パタゴニアの中西さんには小田切から回答します。

平島：現在の活動計画には、（1）市民共同発電全国フォーラム in 飯田への実行委員会参加について、（2）パタゴニアとの連携協力についての記載がないので、追加します。

平島：収支予算計画（案）もご説明ください。

5）2018年度 収支予算計画（案）

資料4

浅輪：昨年度とほぼ同様の費用を入れると、39万円ほど足りません。一般社団法人信州ネットは、エネ庁の委託事業もなくなったので、人件費は足りません。印刷費など可能な限り、昨年度より節約しながら、会員アップや何か、セミナー参加料や、補助や事業委託を受けるような収入をあげる必要があります。

逆に、専門部会費を各部会3万円とあるが、昨年ほとんど活用できていません。

小田切：今年度の予算計画を各専門部会から出すようにしたらどうでしょうか。

また、代表か代理が総会に出席して活動計画を説明していただきたいです。

会員1：専門部会活動費は専門部会以外には使えないのでしょうか？他の活動に活用できませんか？会員に呼びかけて、活動したい人が使える形にしたらどうでしょうか？

合原：プロジェクトチームと同じ扱いと考えれば問題は無いと思います。

小田切：協定ですが、岡谷酸素としては地域主導のエネルギーシフトを呼びかける活動に活用してほしいとのことです。

平島：各専門部会の計画予算を聞いて、余剰があれば、呼びかけるのはどうでしょうか。収入は見込みも含め予算を立てましょう。

■決定事項

定時総会に向けての議事は提案資料に若干の修正を加えることすべて承認された。

(3) その他 議題（事業計画に関連して）

ソーラーシェアリング拡大方策について

平島：今日は ISEP の山本さんが来てくださいました。

山本：いすみ自然エネルギー、日本ソーラーシェアリング協会などに関わっております。

何軒か携わって来ましたが、農業との関係ですとソーラーシェアリングの耕作への影響は、悪影響よりもポジティブな影響の方が多いです。例えば、ブルーベリー園の増産が大きかった。農業にもメリットが出たという結果が出た。

例えば、コンサルティングが入るとしても、中間マージンをなるべく少なくして、農家に還元するモデルが良いと思います。営農を継続するためのソーラーシェアリングという考えです。

(特に地域に理解が広がる前には農家に魅力があるものが良いです。)

埼玉県三郷市で、起点となる人がいて、地域に広がっていく、というケースがあります。

千葉が200件強ですが、これも起点となる人が幾人もいました。

高木：農業を始めたという会社とお会いしました。そのようなところにもソーラーシェアリングは興味があると思います。

山本：太陽電池モジュールの大きさを3割以下に抑えれば、ほとんどの作物は育つ、という実績は出ています。

合原：3割に抑えると、架台などに対する太陽光発電の方のコスト比は変わってくるのではと
危惧もある。

浅輪：自然エネルギー信州ネットは、いろんな立場の会員がいるネットワークなので、
そこが主体となり会員と競合しかねない事業を行うことには懸念を感じます。あくまで、外の
団体が中心となって、信州ネットとしては、広報などの側面支援に徹した方がいいのではない
でしょうか。

合原：事業化をしてビジネスを回していくことを視野にしたい。
O&Mを信州ネットの会員会社が担うなどもできるのではないかと。

平島：引き続き、協議しながら情報交換を続けましょう。

連絡事項

長野県：：配布物の紹介（森林税を活用した新しい事業、及び、森林の里親促進事業のパンフレット）

会員1より、映画「ほたるの川のまもりびと」の紹介。パタゴニアも支援している。

会員1より、質問：新生の信州ネットの改革がどういう目的でどういう現状なのか、達成できたのか。
それを一般会員に知らせる、検証する、という会もできたらと思っています。
自然エネルギーを増やす、という目標に向けて、どのくらい達成できたか。という会が行え
ればと思います。

昨年はドイツとの関わりができたと思いますが、何か、継続した事業をできないか。

来年の軽井沢でのG20 サミットの関係閣僚会合に関連して、NGO 会議とか、何か計画はあるの
でしょうか。

平島：活動に可能な限り取り込んでいきたいと思います。本日は、活発な議論ができてよかったです。
定期総会まで活動計画を磨いていきます。

■2018年度 定時総会開催のお知らせ

日時：2018年6月30日（土） 14：30～16：00

会場：生涯学習センター トイゴ3階 第1、第2学習室

長野市鶴賀問御所町 1271-3

※同日、13:15～14:15 顧問の飯田哲也（環境エネルギー政策研究所所長）によるセミナー「ご当地からのソーラーシェアリング」を開催します。

4. 閉会

以上

自然エネルギー信州ネット

2018年度定時総会 次 第（案）

日時：2018年（平成30年）6月30日（土）

14：30～16：00

場所：長野市生涯学習センター（トイゴ）第1、第2学習室

1. 総会開会の辞
2. 会長あいさつ
3. 顧問あいさつ
4. 議長選出
5. 議事

第1号議案	2017年度	事業報告	資料 1-1	1-2
第2号議案	2017年度	収支決算報告および監査報告	資料 2-1	2-2 2-3
第3号議案	2018年度	役員交代の件	役員名簿	
第4号議案	2018年度	事業計画（案）	資料 3	
第5号議案	2018年度	収支予算計画（案）	資料 4	
その他、意見交換等				

6. 議長退任
7. 閉会

自然エネルギー信州ネット 2017年度活動報告

資料1

I 2017年度の活動方針

2016年度、新運営体制のもと、既存の事業、ネットワークの上に、あらたな新規プロジェクトが複数開始された。

2017年度は、刷新された運営・事務局体制によって新規プロジェクトをより機動的に実践する。

- 1)新規プロジェクト（白書、クラスター、人材育成、地域推進事業（太陽光）など）を実行しながら、各地域での既存プロジェクトの融合、新規プロジェクトのスピノフをめざす。
- 2)専門部会の活動をテーマ達成型の活動へと軸足を移し、活動の活性化をはかる。
- 3)創工ネと共に省工ネ・建物断熱化をめざし、COOL CHOICE宣言自治体を増やすなど、総合的な自然エネルギーまちづくりの事業に関わる。
- 4)会員参加によって信州ネットの活動を活性化させるしかけや仕組みを取り入れる。

活動結果
エネ庁からの委託事業、その他の事業も下記の通り、実行できたが、一部中途のものもある。
信州ソーラーパトロールの発進。その他の取り組みは下記の通り。
エネ庁のPV-OM事業で、太陽光部会を中心とした活動。バイオマス部会、グリーン熱部会にて視察会等を行った。
COOL CHOICE委託は長野市の登録団体となった。地中熱研究会を行なった。また、県の産業化研究会に参加。
PV-OM関連の参加企業で新規何社かの問合せはあったが、全体としては会費会員は減少の傾向。

II 活動計画 及び報告

大項目	目的・ねらい	内容	施策	担当	活動結果
1 専門部会活動の推進	全県共通テーマを中心に、専門性のある調査、研究、企画などに取り組む	5専門部会により、専門性のあるテーマを設定し、会員への活動成果提供を進める	各専門部会が策定する活動計画による		各専門部会
		・太陽光部会	・改正再エネ、保守管理、地域推進セミナー ○スケジュール 年に数回の部会を開催予定。 部会員より希望があれば視察等を同時開催。また、事業化支援の必要があれば協力していく。 ○課題・太陽光については、他のエネルギーと比較しても急速に拡大したため、支援なくても普及している ・固定価格買取制度の買取単価も年々減額となっているため、事業化に取組むには慎重な検討が必要。 ・設置するにあたり、各自治体の規制も強化されているので周知していくことも必要。	中村 嘉寿良 氏	・一社自然エネルギー信州ネットの太陽光発電保守事業委託 と共同してセミナー開催 ・太陽光保守管理専門委員会 発足 ・信州ソーラーパトロール（データベース）立ち上げ
		・小水力部会	・視察・見学会、勉強会	丸山 幹 夫氏	県内で小水力の動きが盛んで情報収集を行った
		・バイオマス部会	・5/11 国産ペレットボイラー参観日 ・「すくだしてマキボイラー」マキボイラーの視察 ・木曽郡木曾町「せせらぎ湯」マキボイラー ・「マキランド」の設置 ・木質燃料（チップ・ペレット）の地球に戻す、完全なリサイクルを目指す ・小規模ペレット製造の立ち上げ 竹ペレット・製材所のおが粉など ・情報の発信・提供	田中守 氏	5/11 国産ペレットボイラー視察を行った。
		・グリーン熱部会	・○スケジュール：28年度はアンケートを部会員に対して実施したが、回答率が低く計画通りの実施が出来なかった。29年度は年に数回の部会を開催し、あらゆる熱エネルギーについての課題等を抽出していく。そこから部会員の専門的知識にて事業性を見出すことができればと考えている。 ○目的：・視察、勉強会については、各エネルギーの関係団体若しくは行政に協力をいただき実施して知識習得を図る。地中熱利用説明会（6/17） ・ZEHの周知。 ○達成目標：・知識の習得。・事業化の確立 ・○課題 ・事業化をするにあたり、施策等のバックアップがない。 ・事業化の対象先が限定される。	中村 嘉寿良 氏	6/17 地中熱利用説明会 を行った
・政策調査部会	・○政策調査部会内の体制構築 ・いったんメンバーをリセット、再募集し、部会員を確定させる ・確定した部会員で、部会運営の役割分担を行う ○県との政策協議 ・次期長野県中期総合計画（2018～2022年度）策定への参画		平島	・自然エネルギー政策を進めていくうえでの支障事例照会への回答 ・次期長野県中期総合計画策定へ意見出しを行った。	
2 プロジェクトチームの創設と活動	地域資源を活用した地域協働による自然エネルギーの普及 自然エネルギーを活用した持続可能な地域づくり 会員の主体的な参加による事業推進	信州ネットのプロジェクトチームとして創設	各チーム活動の基本的考え方		
		・「信州自然エネルギー白書」事業	・印刷・配布・報告交流会	茅野	FIT公開情報も含め、作成
		・「自然エネルギー産業クラスター」形成の研究	・産官学のネットワークによる情報交換・研究活動 ありたい姿・企画の提案募集と県との検討活動	平島	長野県の産業化研究会と連動。信州ソーラーパトロール
		・事業化支援事業	・鬼無里「あるをつくす」事業化支援	小田切	薪ボイラーを導入した。使用マニュアルを独自に作成した。
		・人材育成事業	・県の人材育成事業のフィールドセミナー担当	小田切	公開セミナーを1回、鬼無里と塩田にてフィールドトリップ開催
		・太陽光OMネットワーク事業（地域の再エネ推進事業）	・セミナー開催、県内事業者データベース構築	合原	9回のセミナー、研修。及び、データベースと体制づくりを行った。
		プロジェクトチーム提案に対しての支援・協力	・事業化支援を行う人材（会員）のチームアップ		
広報支援、専門部会による支援、事業化支援プロジェクトによる支援など ・省エネプロジェクト	広報支援、専門部会による支援、事業化支援プロジェクトによる支援など ・COOL CHOICE宣言自治体コーディネート	田村	長野高校のSGHプロジェクトに協力し、学生の自主的な自然エネルギープロジェクトも起きた。 COOL CHOICE委託事業は仲介団体の事情により応募しなかった。長野市のCOOL CHOICE宣言の登録団体となった。		
3 信州ネットの組織形態適正化	事業申請や受託を円滑に進め、責任ある事業主体となる	会員団体のネットと一般社団法人との一体的運営	登記など		終了
4 地域協議会との連携強化	地域協議会の活動成果を他地域に波及させる	地域協議会との連携強化	・各地域協議会の活動支援 ・各地域協議会からの情報発信を促す 各地域協議会の活動		地域協議会の活動交流会を企画したが日程がうまく合わなかった。 (各地域協議会からの報告は別紙)
5 SUWACO Labo、長野県との協定事業	「岡谷酸素太陽光発電所 SUWACO Labo」還元金を活用し、三者協定による情報公開と自然エネルギー普及活動を推進	事業成果報告ならびに情報発信業務 自然エネルギー普及活動（一般の人に親しみを持ってもらうような活動）	・事業成果発表会の開催（11/11 鴨池川エナジーパーク） ・事業報告・分析データの情報公開、情報発信 ・自然エネルギー普及イベント等の開催（年3回） ・地域協議会等、各種イベントへの参加・支援	平島	・事業成果発表会の開催 11/11 「信州自然エネルギーマルシェ」として実行 ・自然エネルギー普及イベント等の開催 PV-OM事業と同時開催 ・地域協議会等、各種イベントへの参加・支援をする体制づくり
6 信州ネット運営の基盤強化と会員参加による活動の活性化	財政基盤の確保 会員が主体で信州ネットを動かす	信州ネットを支える団体や個人を増やす 会員による自然エネルギー普及の取り組みの支援	広報活動、情報提供力の強化 長野県との連携		太陽光の保守点検事業を通して、会員増大を目指したが、会費会員は縮小した。
	運営会議のありかたを見直し、専門部会やプロジェクトチームなど各活動の責任者参加によって信州ネットの運営力を高める会議体の構築を進める。 信州ネットの活動がより活性化するように、会議体、専門部会、プロジェクトチームなどの位置づけや役割を明確にし、必要に応じて規約を改定する。				

2017年（平成29年）度 自然エネルギー信州ネット 収支決算報告

資料2-1

(2017年4月1日～2018年3月31日)

収入決算額 3,988,789 円
 支出決算額 3,948,581 円
 次期繰越金 40,208 円

収入の部

(単位：円)

科目	予算額	決算額	増減	備考
会費	1,036,800	710,000	-326,800	情報会員への移行多い。新規会費会員は1、2名（前期実績 831,000円）
寄付	0	434,575	434,575	個人から寄付金（前期実績 1,700円）
利息	500	24	-476	利息
雑収入	10,000	102,230	92,230	書籍販売 一社よりトナー代使用料など
SUWACO Labo	2,000,000	2,000,000	0	・SUWACO Labo還元金活用事業
人材育成事業	780,000	741,960	-38,040	人材育成事業
受託事業収入	1,500,000	0	-1,500,000	COOL事業 失注
経常収入合計	5,327,300	3,988,789	-1,338,511	

前期繰越金	1,031,856	1,031,856	0	
合計	6,359,156	5,020,645	-1,338,511	

支出の部

(単位：円)

科目	予算額	決算額	増減	備考
人件費・諸謝金	620,000	0	-620,000	補助アルバイトは会場費に計上
旅費・交通費	489,000	100,090	-388,910	・理事会、運営会議の役員交通費 ・SUWACO スタッフ交通費 ・Cool Choice事業 失注 ・スタッフ通勤費
借損料・役務費	2,080,000	1,892,960	-187,040	・HPPサイト管理費用、PCメンテなど ・SUWACO事務委託費（一社ネット） 増額 ・SUWACO イベント制作協力費
リース料・家賃	363,480	356,640	-6,840	・プリンターリース9,720×12ヶ月 ・事務所家賃20,000×12ヶ月
会場費	95,000	59,150	-35,850	・総会、運営会議会場費 ・SUWACO 事業会場費 43,200円 ・SUWACO スタッフ弁当14,000円（1000*14名）
消耗品費	70,000	192,331	122,331	・事務用品、プリンタートナー
印刷製本費	120,000	228,960	108,960	・SUWACO 事業印刷費 人材育成事業別途計上
通信運搬費	200,000	142,752	-57,248	・郵便、宅配便13,860円 ・電話・サーバー・ネット回線
会議費	0	0	0	（会場費・家賃を含む）
光熱費	0	0	0	（家賃を含む）
雑費・手数料	50,000	60,849	10,849	・SUWACO 支払手数料等 2,268円 ・SUWACO イベント保険料 25,900円 ・支払い手数料、本の仕入れ代等 32,681円
租税公課	75,000	79,168	4,168	法人住民税71,000円＋源泉所得税8,168円=79,168円
専門部会活動費	150,000	15,489	-134,511	バイオマス部会 15,489円
人材育成事業	780,000	741,960	-38,040	人材育成事業経費一括 741,960円
税理士報酬・予備費	100,000	78,232	-21,768	
経常支出合計	5,192,480	3,948,581	-1,243,899	
当期収支差額		40,208		
次期繰越金		1,072,064		

特別会計の部

特別会計より一般会計へ	-2,000,000	-2,000,000	0	特別会計の利息12円は、一般会計へ繰出
特別会計へ	2,000,000	2,000,000	0	
特別会計収支	0	0	0	

自然エネルギー信州ネット 公益事業・収益事業区分

資料2-2

(2017年(平成29年)4月1日から2018年(平成30年)3月31日まで)

■公益事業収入 28.7%

■収益事業収入 71.3% (※配分率の表示は小数点以下1桁で四捨五入している
ので、金額にズレが生じる可能性があります)

項目	金額	備考	項目	金額	備考
会費	710,000		岡谷酸素SUWACOLabo 還元金活用事業	2,000,000	消費税込み
寄付金	434,575		人材育成事業	741,960	
利息	24	普通口座12円 特別口座12円	雑収入	102,230	
当期収入合計額	1,144,599		当期収入合計額	2,844,190	

■公益事業支出

■収益事業支出

項目	金額	備考	項目	金額	備考
人件費・諸謝金	0	(今期はエネ庁事業でまかなったので、昨年度より-960,000円)	人件費・諸謝金	0	
旅費・交通費	87,610	運営会議・理事会等の理事交通費	旅費・交通費	12,480	SUWACO Laboスタッフ交通費
借損料・役務費	38,560	サイト管理費 38,560円	借損料・役務費	1,854,400	事務局運営委託費1,814,400円 SUWACO イベント制作費 40,000円
リース料・家賃 (按分)	102,339	プリンターリース代 116,640円 家賃240,000円 × 28.7%=102,339 円	リース料・家賃 (按分)	254,301	プリンターリース代 116,640円 家賃240,000円 × 71.3%=254,301円
会場費	1,950	総会会議室使用料1,950円	会場費	57,200	SUWACO Labo還元金事業 会場費 57,200
消耗品費(按分)	55,190	事務用品 プリンタートナー代 192,331円 × 28.7%=55,190円	消耗品費(按分)	137,141	事務用品 プリンタートナー代 192,331円 × 71.3%=137,141円
印刷製本費	0		印刷製本費	228,960	SUWACO Labo還元金事業 成果発表会告知チラシ印刷費
通信運搬費 (電話サーバーネット回線按分)	36,986	電話、移転工事費、サーバー、ネット回線 128,892円 × 28.7%=36,986円	通信運搬費 (電話サーバーネット回線按分)	105,766	郵便代 13,860円 電話、サーバー、ネット回線 128,892円 × 71.3%=91,906円
会議費	0		会議費	0	
光熱費(按分)	0		光熱費(按分)	0	
雑費(按分)	16,543	・専門部会活動費 15,489円 ・支払い手数料等按分 3,672円 × 28.7%=1,054円	雑費	59,795	・SUWACO 支払手数料等 2,268円 ・SUWACO イベント保険料 25,900円 ・本の仕入れ代 29,009円 ・支払い手数料等按分 3,672円 × 71.3%=2,618円
租税公課	0		租税公課	79,168	法人住民税71,000円+源泉所得税8,168円
税理士報酬(按分)	22,449	2017年度分 78,232円×28.7%=22,449円	税理士報酬(按分)	55,783	2017年度分 78,232円×71.3%=55,783 円
			人材育成事業	741,960	
当期支出合計額	361,627		当期支出合計額	3,586,954	
当期収支差額	782,972		当期収支差額	▲ 742,764	

2017～2018 (H29～H30) 年度役員 (2年間)			
役職名	氏名	地域	所属
理事・会長	高木 直樹	長野・北信	信州大学工学部教授
理事	平島 安人	松本	自然エネルギーネットまつもと (代表)
理事	田村 恵子	松本	自然エネルギーネットまつもと (副代表)
理事	合原 亮一	上小	NPO法人上田市民エネルギー 理事
理事	茅野 恒秀	松本	信州大学人文学部准教授
理事 (退任)	小田切 奈々子	長野・北信	自然エネルギー信州ネット 事務局コーディネーター
理事 (退任)	加藤 三喜夫	佐久	鈴与マタイ株式会社 自然エネルギー佐久地域協議会
理事 (新任)	小野 要	佐久	鈴与マタイ株式会社 自然エネルギー佐久地域協議会
監事	宮入 賢一郎	長野・北信	NPO法人 CO2バンク推進機構
監事 (新任)	金子 和寛	上小	公認会計士・税理士・不動産鑑定士
顧問	茅野 實	長野・北信	前会長
顧問	飯田 哲也		ISEP代表
顧問 (新任)	真関 隆		長野県
事務局長	浅輪 剛博	上小	一般社団法人NECO企画部長

自然エネルギー信州ネット 2018年度活動計画（案）

資料3

I 2018年度の活動方針

「計画する」「伝える」「育てる」をモットーに成果の出る活動を、効率的に行う。

- 1)新規プロジェクト（白書、クラスター、人材育成、信州ソーラーパトロールなど）を実行しながら、実際の成果を得る。
- 2)専門部会の活動をテーマ達成型の活動へと軸足を移し、活動の活性化をはかる。
- 3)創エネと共に省エネ・建物断熱化をめざし、総合的な自然エネルギーまちづくりの事業に関わる。
- 4)会員参加によって信州ネットの活動を活性化させるしかけや仕組みを取り入れる。

II 活動計画 及び報告

大項目	目的・ねらい	内容	施策	担当	
1 専門部会活動の推進	全県共通テーマを中心に、専門性のある調査、研究、企画	5専門部会により、専門性のあるテーマを設定し、会員への活動成果提供を進める	各専門部会が策定する活動計画による		
		・太陽光部会	・信州ソーラーパトロール(O&M)の拡大 ・2019年問題セミナー ・PV大量導入の対応セミナー ・ソーラーシェアリング普及セミナー	中村 嘉寿良氏	
		・小水力部会	小水力発電の県内新規事業の研究／視察（完成する発電所への、完成するまでの問題点など調査する）	丸山 幹夫氏	
		・バイオマス部会	・林業と連携したバイオマス事業などのセミナーの開催	田中守氏	
		・グリーン熱部会	・太陽熱、地中熱、地域熱供給、PVからヒートポンプなど最新事業の情報収集とセミナー ・ZEH導入、エコ建築専門委員会の立ち上げ	中村 嘉寿良氏	
		・政策調査部会	・政策調査部会の体制見直し 部会員を確定し部会運営の役割分担を明確にする ・各専門部会、地域協議会から課題、対案、提言などのヒアリングをして意見書をまとめる	平島	
2 プロジェクトチームの創設と活動	地域資源を活用した	信州ネットのプロジェクトチームとして創設			
	地域協働による自然エネルギーの普及	・「信州自然エネルギー白書」事業	・印刷・配布・報告交流会	茅野	
	自然エネルギーを活用した 持続可能な地域づくり	・「自然エネルギー産業クラスター」形成の研究	長野県の研究会に継続参加。独自のクラスター戦略を持つ		平島
		・事業化支援事業（鬼無里）	・鬼無里「あるをつくす」事業化支援 地域で薪を集める仕組みづくり		小田切
		・人材育成事業	独自の人材育成事業の立ち上げ 「計画する」「伝える」「育てる」		
	会員の主体的な参加による事業推進	・太陽光O&M（信州ソーラーパトロール）の認定事業	認定の基準や体制を構築し、認定を開始する。		合原
		・ソーラーシェアリング支援事業	長野県内でソーラーシェアリング事業を営農中心で行うことを支援する。新しい資金調達の方法の紹介なども検討。		合原
プロジェクトチーム提案に対しての支援・協力		・事業化支援を行う人材(会員)のチームアップ 広報支援、専門部会による支援、事業化支援プロジェクトによる支援など。専門部会と共同して実施 エコ建築専門部会など検討する。 飯田市にて10回目の開催。会長が実行委員長、団体としても実行委員に参加。 地域からのエネルギーシフトの活動を支えるプロジェクト		田村	
3 地域協議会との連携強化	地域協議会の活動成果を他地域に波及させる	地域協議会との連携強化	SUWACO Labo事業にて交流会を行う。		
4 SUWACO Labo、長野県との協定事業	「岡谷酸素太陽光発電所SUWACO Labo」還元金を活用し、三者協定による情報公開と自然エネルギー普及活動を推進	事業成果報告ならびに情報発信業務 自然エネルギー普及活動（一般の人に親しみを持ってもらうような活動）	信州自然エネルギーマルシェを実施し、実行する。 ・参加人数が増えるような開催形態での企画を立てる ・事業成果発表会の開催 ・事業報告・分析データの情報公開、情報発信 ・自然エネルギー普及イベント等の開催(年3回) ・地域協議会等、各種イベントへの参加・支援 ・上記の事業を行うための事務局の維持	平島	
5 信州ネット運営の基盤強化と会員参加による活動の活性化	財政基盤の確保 会員が主体で信州ネットを動かす	信州ネットを支える団体や個人を増やす 会員による自然エネルギー普及の取り組みの支援	専門部会の充実を図り、企業会員のメリットを拡大する。 情報会員から準会員への移動を目指す。		
	運営会議のありかたを見直し、専門部会やプロジェクトチームなど各活動の責任者参加によって信州ネットの運営力を高める会議体の構築を進める。 信州ネットの活動がより活性化するように、会議体、専門部会、プロジェクトチームなどの位置づけや役割を明確にし、必要に応じて規約を改定する。				

資料4

2018年(平成30年)度

予算計画

収入の部		自然エネルギー信州ネット					
科目	2017予算	2017決算	2018予算額		対予算 前年度比	対決算 前年度比	備考
会費	540,000	350,000	400,000				
	410,400	300,000	333,333				
	86,400	60,000	66,667	800,000	-236,800	90,000	現会員数の2割程度増を目指す
補助金	0	0	180,000	180,000	180,000	180,000	補助金の獲得を目指す
寄付金	0	434,575	100,000	100,000	100,000	-334,575	
イベント協賛金	0	0	20,000	20,000	20,000	20,000	セミナー開催時宣伝協力など
受託事業収入	1,500,000	0	0		-1,500,000	0	
	780,000	741,960	0		-780,000	-741,960	(人材育成事業 終了)
	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	0	0	・SUWACO Labo還元金活用事業
販売収入	0	25,600	0	0	0	-25,600	
雑収入	10,000	76,630	20,000	20,000	10,000	-56,630	セミナー参加料など
利息	500	24	20	20	-480	-4	
経常収入合計	5,327,300	3,988,789	3,120,020	3,120,020	-2,207,280	-868,769	
前期繰越金	1,031,856	1,031,856	1,072,064	1,072,064	40,208	40,208	(特別会計200万円は計上せず)
合計	6,359,156	5,020,645	4,192,084	4,192,084	-2,167,072	-828,561	
支出の部							
科目	2017予算 額	2017結果	2018予算額		対予算 前年度比	対決算 前年度比	備考
人件費・諸謝金	80,000	0	40,000		-40,000	40,000	・補助アルバイト人件費
	60,000	0	60,000		0	60,000	・SUWACO講師謝金
	0	0	0		0	0	
	480,000	0	0	100,000	-480,000	0	(事務局運営は、一社に委託する。 雇用契約の関係)
旅費・交通費	100,000	29,160	50,000		-50,000	20,840	・理事会、運営会議の役員交通費
	50,000	12,480	30,000		-20,000	17,520	・SUWACO 交通費
	200,000	0	0		-200,000	0	(COOLCHOICE予算なし)
	139,000	58,450	0	80,000	-139,000	-58,450	(ストック通勤費は一社より)
借損料・役務費	0	38,560	25,000		25,000	-13,560	HP管理費用
	1,680,000	1,814,400	1,680,000		0	-134,400	・SUWACO 事務委託費(一社ネット)
	400,000	40,000	0	1,705,000	-400,000	-40,000	(SUWACO LABO 業務委託費増加なし)
リース料・家賃	116,640	116,640	116,640		0	0	・プリンターリース9,720×12ヶ月116,640円
	246,840	240,000	240,000	356,640	-6,840	0	・事務所家賃20,000×12ヶ月
会場費	10,000	1,950	2,000		-8,000	50	・総会、運営会議会場費 2,000円
	60,000	57,200	60,000	62,000	0	2,800	・SUWACO 事業会場費 60,000円
	25,000	0	0		-25,000	0	(人材育成事業終了)
消耗品費	70,000	192,331	200,000	200,000	130,000	7,669	・事務用品、プリンタートナー 200,000円
	0	0	0		0	0	
印刷製本費	70,000	228,960	70,000	70,000	0	-158,960	・SUWACO 事業印刷費 70,000円
	0	0	0		0	0	
	50,000	0	0		-50,000	0	
通信運搬費	50,000	13,860	30,000		-20,000	16,140	・郵便、宅配便 30,000円
	150,000	128,892	150,000	180,000	0	21,108	・電話・サーバー・ネット回線
会議費	0	0	0	0	0	0	(貸会議室 家賃を含む)
光熱費	0	0	0	0	0	0	(家賃を含む)
雑費		28,168	30,000		30,000	1,832	支払い手数料等 30,000円
	50,000	32,681	0	30,000	-50,000	-32,681	(2017の本仕入れ代なし)
租税公課	75,000	79,168	75,000	75,000	0	-4,168	法人市県民税75,000円
専門部会活動費	150,000	15,489	150,000	150,000	0	134,511	30,000円×5部会
人材育成経費	780,000	741,960	0	0	-780,000	-741,960	(人材育成事業 終了)
予備費	100,000	78,232	100,000	100,000	0	21,768	税理士報酬含む
経常支出合計	5,192,480	3,948,581	3,108,640	3,108,640	-2,083,840	-839,941	-839,941
経常収支	134,820	40,208	11,380	11,380	-123,440	-28,828	
次期繰越金	1,166,676	1,072,064	1,083,444	1,083,444	-83,232	11,380	